

パブリックコメントで提出された意見の概要及び市の考え方

令和4年9月1日から9月30日までの間、第2期海津市地域強靱化計画（案）について意見等の募集を行った結果、1名の方から1件の意見をいただきました。

この意見の概要と、それに対する市の考え方と次のとおり公表します。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>どんな自然災害が起こっても機能不全に陥らず、いつまでも元気であり続ける強靱な海津市を築くために海津市地域強靱化計画を策定となっているが、すべての人、地区を満たすことは難しいし高齢化、人口減少、空き家問題などを考慮すると、コンパクトシティ構想が必須である。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害に強い場所を選び、医療、商業、交通の便を考慮した住居専用地域を定め、市営住宅を作り、順次引っ越しを進める。他地区からの流入も促す。・ 農業従事者で近隣に住む場合は住宅強化補助を行う・ 機能不全に陥らないために、海津市の機能をできるだけ情報化しバックアップサイトを構築する。例えば、姉妹都市の霧島市に相互バックアップ拠点を設ける・ 海津市のサービスは、ネットワーク経由でコンビニなどで情報提供できるようにする。情報化を進めることにより、市役所職員の削減をはかる。・ 海津市の議会などはWEB会議で行い、一般の人でも視聴できるようにする。会議については、資料を事前開示し効率的に進める。	<p>ご意見のコンパクトシティ構想が必須であることにつきましても、海津市第2次総合計画・後期基本計画において、「既存の市街地や集落の無秩序な拡大を抑制し、集約型都市構造の形成を図る」という施策の方向を定めているほか、今年度策定する海津市都市計画マスタープランにおいても「既存の生活圏の集約を図りコンパクトなまちを目指す」という基本方針を定める検討をしております。</p> <p>具体的に挙げていただいた事業内容につきましては、今後の施策を検討するうえで貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>